

みなかぜの虹



NO.4

平成27年11月15日

南風小学校学校運営協議会

地域行事に参加する子どもたち

今年から始まった南風校区のウォークラリー「みな散歩」、公民館主催の「玉ねぎ植え」。その様子を紹介します。

みな散歩

南風校区の魅力を知ろう!

約70名の参加で行われました。保護者の皆さんと一緒に楽しそうに歩いている子どもたちにもたくさん会いました。多久川を渡ったり、多久神社やみず咲公園に行ったりと、1時間ちょっとの時間をかけながら校区を散策し、ポイントでのクイズに答えていきました。

ここで、そのクイズのなかから一つ問題を出してみます。

「はな咲公園にある遺跡は何という遺跡ですか?」

美咲が丘の宅地造成時に発見された遺跡で、今から1600年ほど前の古墳です。

答えは分かりましたか?

「コミュニティ・スクール・みなかぜ」がめざす子どもたちの「自己肯定感」を育てるための一つのキーワードが「郷土への愛着」です。

ぜひ、ご家族で来年の参加をお待ちしています。

また、同じ日には、これも今年が初めての校区の避難訓練が行われました。煙の中を歩く体験や炊き出しの訓練が行われ、140名ほどの参加でした。

玉ねぎ植え

大きくなあれ!

当初の予定の2倍以上、約160名の参加で、「玉ねぎ植え」が行われました。1組に50本の苗をもらい、多久川沿いに植えました。地域の方と3年生が同じ場所に夏の間、ひまわりを栽培していることで、連作障害がなく、おいしく育つのだそうです。

おなじみのJAの「ドクター・古藤」さんから植え方のお話を聞いて、マルチ(黒いビニル)をかけたうねに植えていきました。このマルチは、地域の方々と前原西中学校の生徒さんがかけてくれたそうです。この行事にも、家族で参加している子どもたちをたくさん見かけました。収穫が楽しみです。



「ファミリー読書月間」その②

「みなかぜの虹」第3号でお知らせしました、「ファミリー読書月間 うちどくカード」の取組は進んでいらっしゃるでしょうか。

カードをお配りして、まだ数日ですが、数件の「うちどくカード」が届き始めました。2枚目、3枚目にチャレンジしていらっしゃるご家族もあるようです。

ありがとうございます。

さて、今回は学校での取組を紹介します。

■「絵本のもりもり」

図書室の周りの廊下には、たくさんの絵本が飾られています。

文字通り、「絵本の森」ができあがっています。子どもたちは、上靴をぬいでマットの上に上がり、くつろいだ感じて絵本を読んだり、友達と読み合ったりしています。

お時間のある時に「絵本のもりもり」に来られませんか。(13日まで実施)これらの本を「うちどくカード」に書かれてもOKです。

読み聞かせボランティアの「エルフの会」の皆様大変お世話になっています。ありがとうございます。

■「ラッキーくじ」

図書室から借りた本のバーコードナンバーをもとに、くじを実施しています。なんと賞品付きです。図書室の本を借りて、読んでチャレンジです。



ファミリー読書月間・うちどくカードの進め方

前号に続けて掲載します。

1 目的

- 読書の楽しさを感じ、すぐれた文章・言葉にふれる。
- 読書を通じて家族とのコミュニケーションを図り、自己肯定感を高める。

2 方法

- ① 子どもが本を読み、学級や全校の友達に紹介したい本を選ぶ。
- ② 子どもが「うちどくカード」に、タイトルや感想(おすすめのポイント)、おすすめ度を記入する。
- ③ 保護者は、子どもが選んだ本を読み、子どもとその感想を語り合う。
- ④ 保護者は、「うちどくカード」の「かぞくからのコメント」を記入する。
- ⑤ 各学級担任に提出する。

3 気をつけて欲しいこと

- 方法の④が子どもの自己肯定感のためには大切です。お忙しいところですが、お時間をとってあげてください。
- 選ぶ本は、図書館でもご自宅でも、糸島市図書館など、どちらの本でもかまいません。
- 子どもの自主性を尊重し、子どもと話し合いながら、紹介する本を決めてください。
- 11月いっぱい、少なくとも「うちどくカード」1枚は取り組んでください。もちろん何枚書かれても結構です。大歓迎です。うちどくカードは、各教室等に掲示する予定です。